

【日本PDA製薬学会 第19回年会 一般演題スケジュール】  
12月13日(木) 9:00~10:20、13:00~14:20

・発表時間 15分、質疑応答5分 計20分

12/13

※プログラム内容、タイトルなど予告なく変更する場合がございます。  
予めご了承のほどお願いいたします

		第4会場(福寿/2階)	第5会場(桃源/2階)
9:00~9:20			OS1-1 精製水製造、送水装置におけるリスク管理について 演者:吉原 大祐 日本錬水株式会社 機能品事業部
9:20~9:40			OS1-2 高薬理活性物質とは何か? -定義と封じ込め- 演者:宮嶋 勝春 武州製薬株式会社
9:40~10:00			OS1-3 近赤外分光法を用いたフィルム量の評価 演者:中山 幸治 東和薬品株式会社 製剤技術センター
10:00~10:20			OS1-4 Quality by Design (QbD)アプローチによる抗体医薬品の研究開発 演者:長島 弘明 中外製薬株式会社
		-	-
13:00~13:20	OS2-1	病院内製造PET薬剤の製造標準化と課題ー学会製造基準(GMP)と施設調査ー 演者:脇 厚生 独立行政法人 放射線医学総合研究所・ 日本核医学会分子イメージング戦略会議委員	OS3-1 注射剤用ガラス容器内面の表面劣化 事例紹介とその原因と対策 演者:Folker Steden SCHOTT AG, Tubing  ※同時通訳あり
13:20~13:40	OS2-2	注射剤治験薬製造ラインへのシングルユース技術導入 演者:高畑 賢弥 中外製薬株式会社 生産工学研究部	OS3-2 賦形剤についての微生物学的品質異常に伴うリスクマネジメント事例 演者:藤井 彩 バイエル薬品株式会社 プロダクトサプライジャパン本部
13:40~14:00	OS2-3	TM by SR法による凍結乾燥製剤の非接触品温測定 演者:細見 博 共和真空技術株式会社	OS3-3 医薬品製造施設向け高感度微生物ATP計測システム 演者:宮下 野恵 株式会社日立プラントテクノロジー 松戸研究所
14:00~14:20	OS2-4	グローバル・コンピュータ化システムバリデーションSOP 演者:合津 文雄 塩野義製薬株式会社	